

セイリヨウライン 運送業務システム

中部ーT経営力大賞で奨励賞

【愛知】セイリヨウライン（幣旗貴行社長、大府市）では、クラウドを活用して

また、パブリッククラウド上で提供されている共同配送サービスを活用し、協力会社のネット

賞。幣旗社長は「処

理はデジタル、判断はアナログ」との考えで、今後もITを活用した経営戦略の具体化を進めていく。

（荻須登美）

自社開発を行った運送業務システムを運用している。

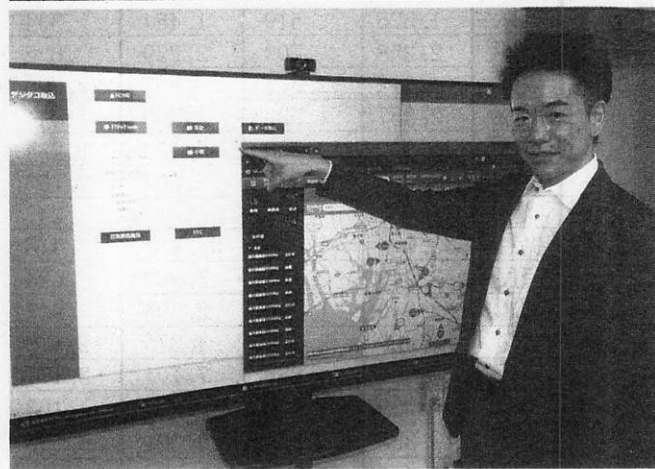
プライベートクラウド上のデータベースを活用して、基幹システムと社内ポータルサイトを作成。

共有することで、空便の有効活用など効率的な配送業務の最適化が可能となった。

システムを自社開発するきっかけとなったのはデジタコ。従来のソフトではデータ取り込みに手間がかかる上、運行データの集計・分析機能が少なく安全運行に寄与するシステムとして是不十分

基幹システムでは配車管理、デジタコのデータ管理から、顧客や顧客カルテといった営業管理までを行うことができ、それらに付随する作業は徹底的に合理化され、社内業務の処

社長自らが手掛け、改良を繰り返しシステムは「中部IT経営力大賞20



幣旗社長